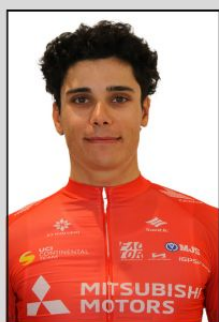


Giro d'Abruzzo Race Previwe

JCL TEAM UKYOの次戦はGiro d'Abruzzo

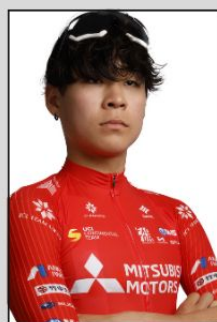
GIRO D'ABRUZZO 2025



D'AMATO



FANCELLU



KAMADA



KOISHI



MASUDA



RACCANI



ZERAY



15-18
APRIL

レース期間：4月15日～18日

総距離：619km

UCIカテゴリー：2.1

参加チーム：19チーム (2 WT, 5 PT, 11 CT)

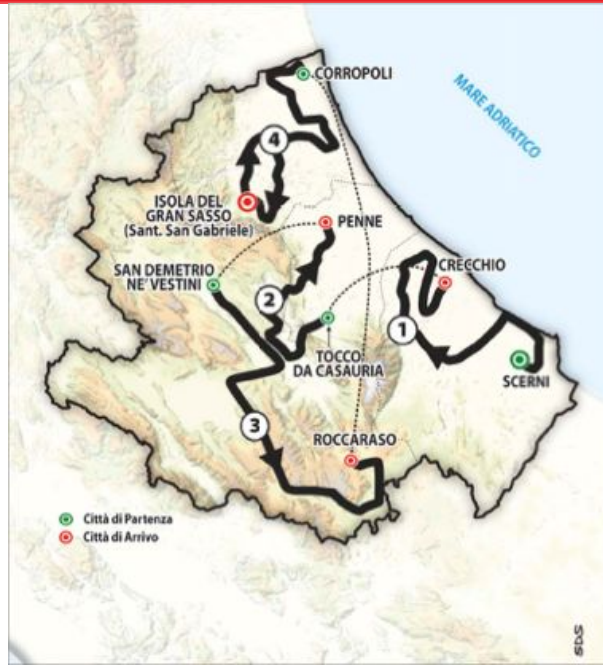
出走選手数：132人

JCL TEAM UKYOメンバー：アレッサンドロ・ファンチェル、小石祐馬、アンドレア・ダマート、鎌田晃輝、増田成幸、シモーネ・ラッカーニ、ナホム・ゼライ

JCL TEAM UKYO監督：マヌエーレ・ボアロ

レース公式サイト：<https://www.ilgirodabruzzo.it/>

JCL TEAMUKYO公式サイト：<https://jcl-team-ukyo.jp/>



JCL TEAM UKYOのイタリア遠征は、4月15日から18日まで開催されるステージレース「ジロ・ダブルツォ」へと続きます。このレース 2003年から2007年まで開催されていましたが、一度消滅。2024年に復活し、今年が第5回目の開催です。

今回のチームには、ベテランの増田成幸が出演。彼は先日のミラノ〜トリノで逃げに乗ったばかりです。日本人選手としてはほかに、ツール・ド・台湾のアジア最優秀選手賞を獲得した小石祐馬と、U23アジアロード王者の鎌田晃輝も出場します。

総合成績を狙うのは、直近のセッティマーナ・コッピ・エ・バルタリで総合 12位となったアレックス・ファンチェルと、2025年ツール・ド・ドルワンダでステージ優勝を飾ったナホム・ゼライの 2人のクライマー。彼らにとって有利な山岳コースが待ち受けています。

スプリンターのアンドレア・ダマートは、これまでの好成績をさらに伸ばすことを目指します。シモーネ・ラッカーニも台湾で総合8位になっており、再びステージレースでの力を見せたいと語っています。



第1ステージ はアップダウンの多いコースで、ボッカ・ディ・ヴァッレの KOM(山岳ポイント)以降も細かい登り下りが続きます。クレッキオのゴールではスプリント勝負になる可能性もありますが、スプリンターは油断できません。

第2ステージ は本格的な山岳ステージ。フォルチェッラ・ディ・アッチャーノ、フォルカ・ディ・ペンネ、そしてフィニッシュ地点の登りと、3つのKOMを含みます。テクニカルな下りや狭い山道もあり、最終 3kmは平均勾配5%の登坂です。

第3ステージ は「クイーンステージ」。フォルカ・カルーソとジョイア・ヴェッキオの KOMの後、18kmに及ぶ長い登りがゴール前に待ち受けます(平均勾配 4.8%、最後の1kmに最大12%の急勾配あり)。

第4ステージ はアップダウンの連続。8つの登坂区間があり、最後は 58kmの周回コース。ゴールは緩やかな上り坂となっています。

小石祐馬 コメント

「アブルツォは初めてで、とても楽しみです。まだ歴史の浅いレースですが、去年よりコースが少し厳しくなっていると感じます。天気が良ければいいですが、雨ならもっとハードになります。毎ステージでベストを尽くしたいです。」

アンドレア・ダマート コメント

「僕のタイプの選手にとっては正直あまり向いていないレースです。それでも、第 1ステージのスプリントに向けて全力を出します。その他のステージではチームメイトのために走ります。」



歴代優勝者

2024 LUTSENKO Alexey
2007 ASCANI Luca
2004 KUSCHYNSKI Aleksandr
2003 MASON Oscar

JCL TEAM UKYO ならびにこのレポートに関するお問い合わせ: KATAYAMA PLANNING株式会社
田村 遼(広報) Mail: tamura@kplanning.co.jp TEL: 090-44551-4021
増田 深雪(広報) Mail: m-masuda@k-planning.co.jp